


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和2年5月17日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第1号	質問議員	11番	堀口恵一	
件名	山北町内全戸を含む町民にとって適切な Wi-Fi 環境を				
要 旨					
<p>今回新型コロナウイルス問題で3密行動が制限され、事業者、学生、他多くの人が困っている状況であり、代替の活動が推進され、実行出来ることはされているところである。テレワーク、オンライン診療、オンライン教育、テレビ会議、オンラインでの見守りなどの現実性、実用性、重要性が示された。又、各個人、各家庭の Wi-Fi 環境問題も露呈された。</p> <p>総務省では災害時の観点、教育の観点、観光の観点で公共施設等への Wi-Fi 環境の必要性を重視し公共施設への整備を推進している所である。山北町でもふるさと交流センターなど3ヶ所においては実施されているところである。</p> <p>遠隔防犯カメラ、家電遠隔コントロール等 Wi-Fi に繋がる IoT 機器も相当安くなっている。Wi-Fi も少々使うならスマホなど無線通信機器の従量制料金で問題ないが、TV 電話での長電話、会議への参加、数時間に及ぶテレワーク、一日見守り、長時間の動画、遠隔教育に使う動画を含む多くの情報など、多量の情報を扱うには従量制でない適切な Wi-Fi 環境が必要である。山北町では既に光回線が三保地区など山地も含め敷設されているが、町内各戸全部が回線接続と Wi-Fi ルーター設置を行い、Wi-Fi 機器を利用出来る状況にはなっていない。ここに情報格差、行政サービス格差が生まれる原因がある。又、合理化、情報化、情報機器高度利用が進まない原因があると考え。</p> <p>一人暮らしの家庭（オンライン診療、遠隔見守り、防犯カメラ、生活相談 TV 電話等）、小中高大学生のいる家庭、テレワークをする家庭と違いはあれ、この情報化時代、Wi-Fi 環境は水と同じく必要なものであるのに、それが割高であるため末端まで普及が進まない状況と考える。しいては日本の学力低下、日本企業の能力低下を招いている現状と考える。</p> <p>山北町内の小中高大学生のいる全家庭に同じ環境がないと教育格差が生まれる。又、教育情報を発する側にも大きな負担が潜在する。モバイル Wi-Fi ルータも考えられるが、家の IoT 機器などは、モバイルルーターを外出時持ち出せば使えなくなってしまう</p>					

う。それでもおおよそ月額 3800 円とかかかる。

山北町は光回線が全域敷設されているにも関わらず、有効に接続利用されていない。性能はトップクラスなのにおおよそ月額 6000 円の料金がネックになっていると思われる。又、光回線は高速大容量であり普通の独居や少家族一軒で使うには多すぎる状況である。

そこで質問する。

1. 町内公共施設に Wi-Fi 環境があれば、家庭事情にかかわらず、そこに出向いて利用することが出来る。また災害時にも利用することが出来る。ふるさと交流センターなど 3ヶ所には既に設置されているが、それ以外の町内公共施設への Wi-Fi 設備設置についてはどう考えているか。

2. 山北町内全戸に Wi-Fi 環境が必要と考えるが町はどう考えるか。

3. 低価格な高速大容量 Wi-Fi 環境（月額 1000 円程度）を実現する手段として光回線 1 つをルーターで分岐して 6 軒で使えば月額 1000 円程度で安定した高速大容量の回線が使えることになる。LAN のケーブルを地続きの隣接する隣近所で繋ぎ、各戸に Wi-Fi 無線ルーターを設置すれば出来ることである。ご近所同士手を取り合って、Wi-Fi 設置をすれば相互扶助のきっかけにもなる。何か組合を作って推進すべきであるが、役場の後ろ支えが必要と思うがどうか。